

いわき農林ニュース

(ごちそう ふくしま絆づくり運動ニュース)



発行 平成22年7月15日



「第1回森づくり体験」を実施

6月6日(日)、いわき市田人町旅人地内において、「田人の山・光あふれる森づくり事業」を実施しました。

この事業は、公募した一般市民23名を対象に、森林が有する水源のかん養、地球温暖化防止などの多様な機能について理解を深め、森林資源の循環利用や継続的な森林整備の重要性について学ぶことを目的に、全3回の活動を実施します。



(植林体験の状況)

第1回目の「森づくり体験」は、四時川上流の水源地の伐採跡地において、地元田人林業研究会員の指導を受けながらスギ苗100本を植林しました。

参加者は、初めて使う唐鍬と慣れない作業に苦労しながらも、山に木を植え育てることの難しさや重要性を感じていました。



(短木ほだ木の伏せ込み体験状況)

次にナラの短木ほだ木を用いて、ナメコ、ヒラタケの植菌と伏せ込み体験を行いました。普段何気なく食べているきのこの生産が簡単ではないことに驚いていました。

参加者は、心地よい汗を流しながら、

植林ときのご植菌体験を通じて人と森林の関わり方や森林整備の重要性について学ぶとともに、山村地域の人々との交流を深めていました。

今後は第2回目の活動として、10月中旬に今回植菌したほだ木から採れたきのことを使った収穫祭とスギの間伐体験、第3回目の活動として、11月上旬に間伐材の利用(クリスマスツリーの設置)と交流会を実施する予定です。



「田んぼの学校」でかかしづくりと草取りを実施

6月11日(金)、22日(火)、いわき市立夏井小学校と連携した「田んぼの学校」において、かかしづくりと学習田の草取りを行いました。

かかしづくりでは、5年生児童23名が5つの班に分かれ、それぞれ班のアイデアをもとに、各班1体、全部で5体のかかしを製作しました。

今回製作したかかしは、骨組みに地元から提供された竹と玉縄、肉付けには昨年度刈り取った稲藁など、地域資源を活かした自然に優しい素材を用いたほか、表面の装飾は、各家庭で不要となった衣類を持ち寄るなどして作られました。

完成した5体のかかしどれを見ても個性的な仕上がりで、児童たちも作品の出来栄えにとっても満足している様子でした。

出来上がったかかしは、今後の活動で学習田に建てられ見張り番となる予定です。



(田んぼの見張り番完成)

また、「田んぼの学校」では、学習田に農薬等を一切使用しないで稲を育てることから、田全体に伸びた雑草は、手作業

で取り除く必要があります。

児童たちは、地元農家や小学校PTAからなる「田んぼの学校応援団」と協力して、およそ500㎡の広さの学習田を手作業で除草を行いました。

活動の中では、昔ながらの農具「田車」による除草・中耕作業も体験したほか、7月に行う追肥用の「ぼかし肥」づくりも併せて実施するなど様々な活動を通して、田植えや稲刈り意外にも多くの時間と手間がかけられ米づくりが成り立っていることと、その作業の大切さを学習し身につけた様子でした。



(田車による除草・中耕の状況)



「いわき地方有害鳥獣被害防止対策会議」を開催

6月17日(木)、県いわき合同庁舎において、「平成22年度いわき地方有害鳥獣被害防止対策会議」を開催しました。

会議では、いわき農林事務所から管内の被害状況、昨年度の取り組み、本年度におけるイノシシ被害防止研修会の開催計画とハクビシン被害防止実証ほ設置について説明を行いました。



(いわき地方鳥獣被害防止対策会議の状況)

いわき市からは、昨年度の「いわき市鳥獣被害防止対策協議会」の設立及び「鳥獣被害防止総合対策交付金事業実施計画」の策定により、イノシシ、ハクビシン、ノウサギによる被害防止への体制が整備されたことや、鳥獣被害対策事業につい

ての紹介がありました。



(電気木柵の設置例)

県農業総合センターからは、集落全体で有害鳥獣被害防止に取り組むことで、より大きな効果が期待できることが説明されました。

近年、管内では、有害鳥獣による農作物被害が増加しており、特に、イノシシによる被害は山間部のみならず、平坦部へも拡大しています。

今後は、鳥獣被害対策広域指導員として登録されている、各JAと農業共済組合の職員3名を始め、各関係機関が連携を強化し、効果的な有害鳥獣被害対策を進めていくこととしています。



「いわき地方農薬適正使用推進会議」を開催

6月17日(木)、県いわき合同庁舎において、「平成22年度いわき地方農薬適正使用推進会議」を開催しました。

会議では、昨年県が実施した農薬適正使用に関する活動と今年度の対応、県内及び国内産農産物の残留農薬超過事例について説明を行いました。

さらに、農薬を安全・適正に使用するための注意点を説明し、関係者の基本事項の励行と農薬の飛散や誤使用、農産物からの農薬残留検出等発生時における各機関の対応についても確認しました。特



(いわき地方農薬適正使用推進会議の状況)

に、緊急時の迅速な対応を目的として、夜間や休日の問題発生時における連絡体制を新たに整えました。

農産物に農薬残留が認められると、産地として多大な損失が発生するだけでなく、信用回復には膨大な労力と時間を要するため、日ごろから関係機関と連携して問題発生に対する未然防止を徹底することについて確認を行いました。



「農業ふれあい講座（栽培指導会）」を開催

6月19日（土）、いわき市平夏井地内のほ場において、いわき農業青年クラブ連絡協議会主催による「農業ふれあい講座（栽培指導会）」が開催されました。

協議会では、野菜作りを通して市民に農業への関心と理解を深めていただくため、一般消費者の方々を対象として4～12月の期間に4回の「農業ふれあい講座」を開催する予定です。



（農業青年クラブ会員の栽培指導会の状況）

この講座は、農業青年クラブ会員が参加者に対して栽培等のアドバイスをしながら、実際に野菜作りを体験していただくものです。

本年度は、4月に「開講式」を行い、今回は第2回目として「栽培指導会」が行われました。

当日は、曇天で時折小雨が降るあいにくの天気でしたが、6家族8名が参加し、クラブ会員とともに各自が栽培するほ場を巡回しながら、野菜の栽培上の注意点、病害虫防除法などの栽培管理の指導を受けていました。参加者は、クラブ会員の説明に熱心に聞き入るとともに質問等も交えながら、共にふれあう講座となりました。

今後8月には、各自ほ場で栽培した野

菜の食べ比べと冬野菜の作付けに向けた「栽培指導会」、12月には「収穫祭」が行われる予定です。



（各ほ場巡回による指導状況）



「園芸王国ふくしま創造 いわき地方推進会議・産地 支援チーム合同会議」を開催

6月23日（水）、県いわき合同庁舎において、「園芸王国ふくしま創造いわき地方推進会議・産地支援チーム合同会議」を開催しました。

会議では、今年度から県が取り組む『園芸王国ふくしま創造プロジェクト推進戦略』を受け、いわき地方で“園芸産地パワーアップ・プロジェクト”及び“地域の園芸品目魅力アップ・プロジェクト”における産地強化を進めるため『サンシャインいわき園芸産地強化戦略』を策定しました。

この戦略は、①産地担い手の確保・育成、②生産基盤の維持・強化、③販売対策の強化、④安全・安心及び環境と共生する農業の取組み強化の4つの視点で重点的に推進する方向性を定めたものです。



（推進会議・支援チーム合同会議の状況）

今後も、園芸産地パワーアップ・プロジェクト対象産地のトマト、きゅうり、日本なし、地域の園芸品目魅力アップ・プロジェクト対象産地のいちご、ねぎ、さやいんげん、ブロッコリー、いちじく、切り花など園芸振興に取り組んでいくこととしています。



「いわき地域産業6次化ネットワーク」を開催

6月28日（月）、県いわき合同庁舎において、いわき地域産業6次化運営会議（事務局：いわき農林事務所・いわき地方振興局・水産事務所）の主催により「第1回いわき地域産業6次化ネットワーク」を開催しました。

このネットワークは、いわき地方の温暖な気候、潮目の海、豊富な森林資源などから生み出される豊かな農林水産物を基盤として、農・商・工が連携・融合することにより、新たな地域産業の創出を図る「地域産業6次化」を促進することが目的です。

当日は、農業関係者や商工業関係者、研究機関関係者など、約100名の参加があり、地域産業6次化への関心の高さをうかがわせました。

今回は、第1回目として、二瓶いわき地方振興局長の挨拶に続いて、茨城大学農学部塩光輝教授が「農業の6次産業化を考える」をテーマに講演を行い、引き続き、地域産業6次化の先進的な事例について、タムラ電子(株)（くんせいたまご）、リプロ内郷企業組合（いろいろ米）、(株)いわきチョコレート（紅玉林檜チョコ）の代表者が報告を行いました。



（茨城大学農学部 塩教授の講演）

その後、高梨いわき農林事務所長を座長として、参加者による情報交換会を行い、地域産業6次化に当たってのきっかけや課題解決に向けての方策について、活発な意見が交わされ、参加者は、地域産業6次化への理解を深めていたようです。



（意見交換会の状況）

いわき地域産業6次化運営会議では、今後2回のネットワーク及び先進事例の現地視察を計画しているほか、随時ネットワーク会員を募集しています。

皆様方の積極的な参加をお待ちしています。

いわき農林事務所からのお知らせ

- ◎ 有機生産者技術交流会
期日：7月23日（金）13:00～16:30 会場：JAいわき市大浦支店
- ◎ 食の安全安心アカデミー（消費者コース）
期日：7月27日（火）13:30～16:00 会場：県いわき合同庁舎 4階大会議室
- ◎ 土地利用型作物生産振興会議浜通り技術会議
期日：8月5日（木）10:30～ 会場：県いわき合同庁舎 3階会議室
- ◎ 「ごちそうふくしま絆づくり運動（仮称）」いわき地方推進本部会議
期日：8月5日（木）13:30～ 会場：県いわき合同庁舎 4階大会議室
- ◎ 森林環境教育指導者セミナー
期日：8月10日（火）9:00～ 会場：湯ノ岳山荘

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6152 Fax (0246)24-6196

URL <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail iwaki.nourin@pref.fukushima.jp



iwaki.nourin@pref.fukushima.jp